

提案システムの概要

上下水道管のデータ

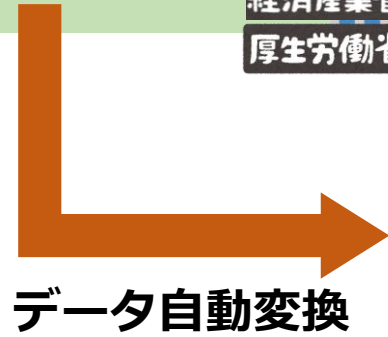
水道情報活用システム
経産省+厚労省



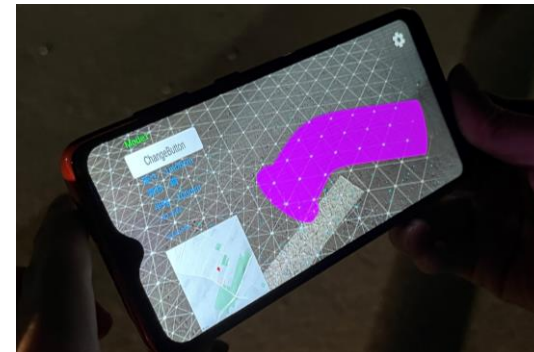
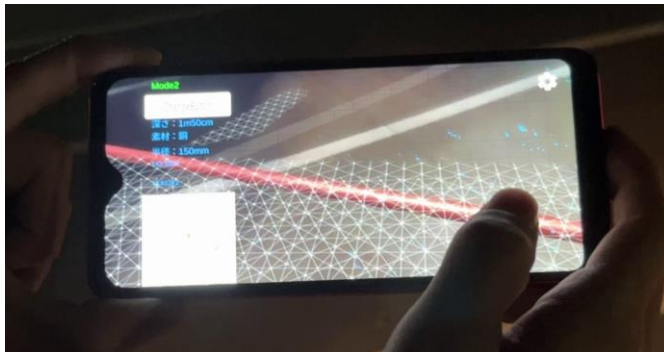
上下水道台帳
地方自治体



新規・更新敷設
工事業者



上下水道3D
プラットフォーム



上下水道3Dプラットフォームの4大機能

紙図面からの3D上下水道管の作成機能

紙図面をカメラもしくはスキャナでPCに取り込み、画像処理とAIを用いて、情報をデジタルデータに変換後、自動的に上下水道管の3次元情報を作成する。

3D上下水道管の表示機能

これまでに実現しているシステムの機能をブラッシュアップする。レイヤー（層）での表示を可能とし、**表示できる情報の取捨選択**を可能とする。

デジタル図面からの3D上下水道管の作成機能

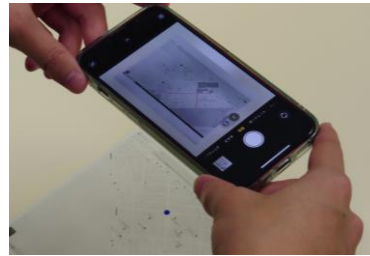
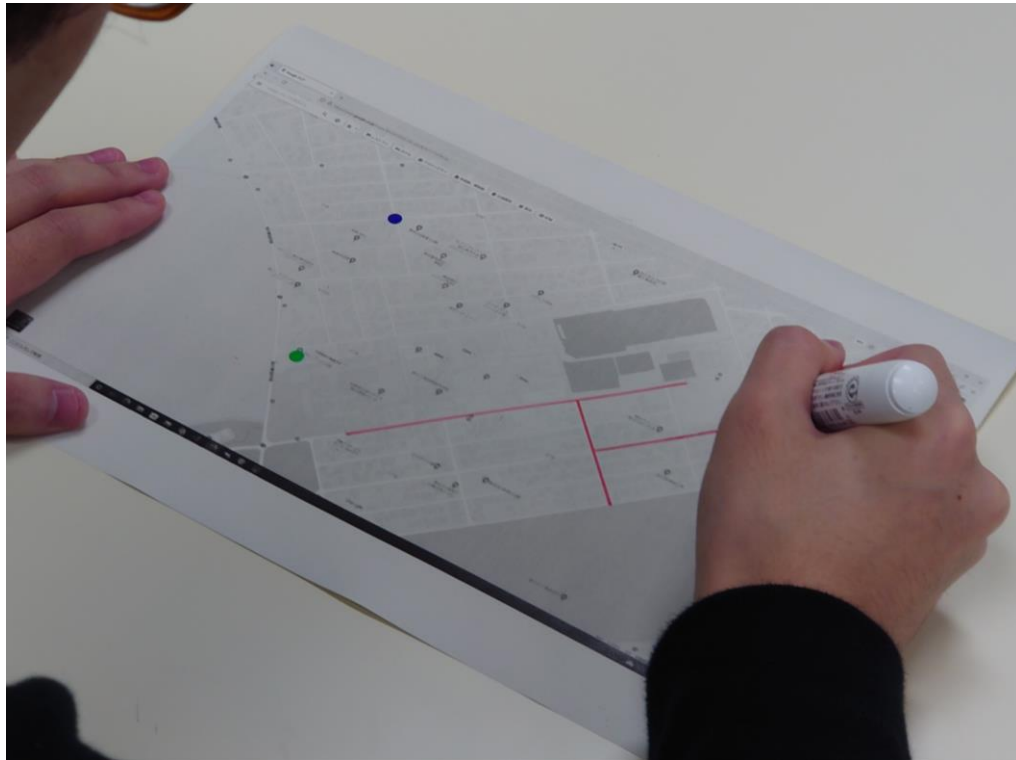
GIS分野でスタンダードな「**shpファイル**」から、登録されている上下水道管の情報を抜き出し、自動的に上下水道管の3次元情報を作成する。**水道情報活用システム**や**上下水道台帳のデータ**を**自動変換**する。

現場における3D上下水道管の登録機能

これまでのシステムで一度設置した管の移動や修正が困難なため、誰でも簡単に操作しやすいシステムへ修正する。**湾曲した管を登録**できる機能を追加する。

小規模水道向け機能

- 紙ベースの図面をデジタルデータ化
- 記憶の中にある情報を紙へ記入し，デジタルデータ化
⇒紙の地図に赤いマーカで記入，スキャナ・カメラで画像化，
デジタルデータ化



全国展開へ
小規模水道
のデジタル化

画像認識

スマート・ライフラインへの拡張

地中インフラ

上下水道管, 簡易水道, 小規模水道, ガス管, 電力線, 電話線, 光ファイバー, 地下鉄, 道路, ロードヒーティング配管等

⇒上下水道の3D化と同様の技術が使える！！

地中インフラを一元管理



スマート・ライフライン

* 大規模災害時の復旧に活躍

地中インフラへの革命を実現

事業化に向けて

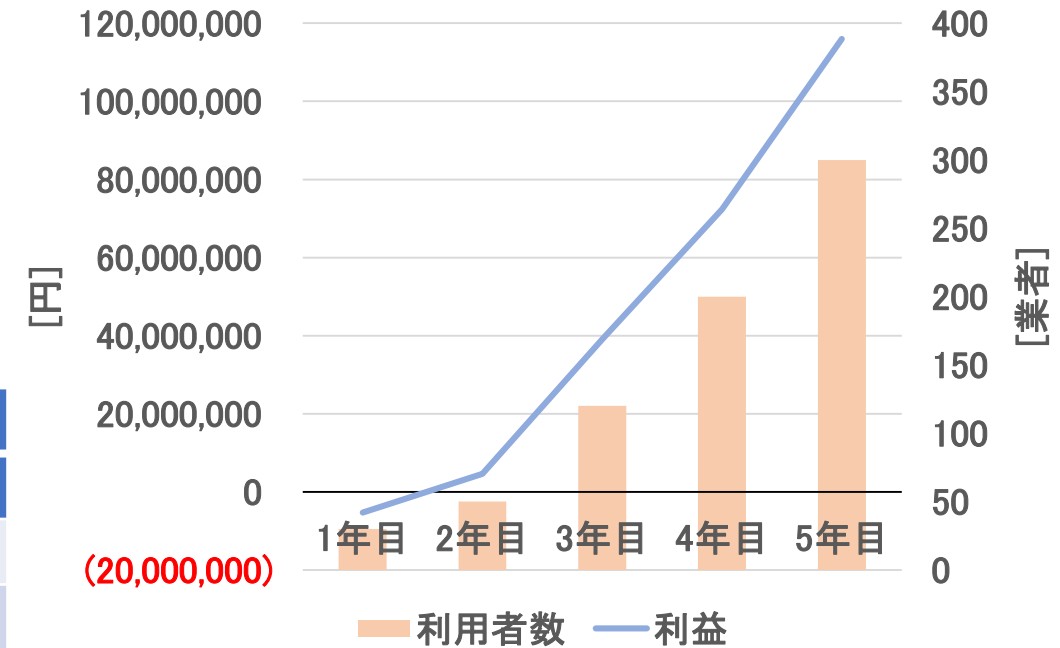
年間利用料：50万円/業者（最大5ユーザ）

利用者：年々増加を想定

⇒5年分の収支をシミュレーション

事業化後5年間の収支シミュレーション結果

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
収入合計(円)	15,000,000	25,000,000	60,000,000	100,000,000	150,000,000
年額利用料(円)	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
利用者数(業者)	30	50	120	200	300
支出合計(円)	20,300,000	20,400,000	21,000,000	27,600,000	34,000,000
人件費(円)	18,000,000	18,000,000	18,000,000	24,000,000	30,000,000
システム運用固定費(円)	500,000	600,000	1,000,000	1,300,000	1,500,000
事務固定費(円)	500,000	500,000	700,000	1,000,000	1,200,000
広告宣伝費(円)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
システム開発費(円)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
利益合計(円)	-5,300,000	4,600,000	39,000,000	72,400,000	116,000,000



5年後には利益1億円